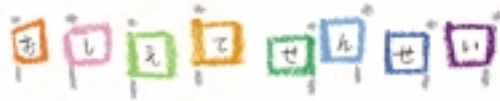


教えて先生



ママの悩み



Q

ただいま第二子を妊娠中です。上の子は、生後半年から保育園に通っていましたが、私が仕事を辞めて、現在は幼稚園へ通っております。下の子は、幼稚園に入るまで私が家で世話をしようと考えております。

そこで今回お聞きしたいのは、0歳～1歳くらいの赤ちゃんとのスキンシップのとり方です。上の子のときは、気がついたら保育園だったので世話をした記憶がほとんどありません。しかも、保育園の先生がどうやってスキンシップをとられていたのかもわからない状況です。そこで！0歳や1歳の子でも、何か一緒にできるオススメの遊びがあれば、教えてください。よろしくをお願いします。

A

最初のお子さんの時は、仕事を持つていらして、生後半年頃から保育園に預けたので、今度生まれるお子さんは自分の手で育てようと、二人目の赤ちゃんの誕生を待ちわびていらっしゃるママの感動と充実感に先ずは、おめでとうとおよろこびを申し上げます。

ところで、上のお子さんの赤ちゃん時代は世話をした記憶が全くないということですが、一日は24時間、朝起きて登園するまでの間、そしてお迎えに行き保育園から我が家に帰って寝るまで、あるいは休日にとなたがお世話をなさったのでしよう。

保育園は、子育ての代行業でなく応援ですから、お子さんの成長にとっては、触れ合う時間の長短でなく、何と言っても十カ月間、その胎内にいたママを中心とした家族との刻々の触れ合いの影響がいちばん大きいものだと思いますよ。多分忙しくて記憶に残っていらつしやらないのでしようね。

お尋ねに対する直接のお答えではありませんが、最初に紹介したのは、ミシガン大学のセルマ・フレイバーク博士の「赤ちゃんの愛欠病」という著書の一節です。

「赤ちゃんは可愛がられないと、その後の人格がゆがみ、次の世代がゆがむ。大人たちは何を忘れても、このことを忘れないようにしないと人類は滅亡する怖れがある。最近、二世代のアメリカ人は、この事実気づか

ず、今、怖ろしいことが起こりつつある。どんなことが起こるか。①情緒が貧困で冷酷な人格。②知能や学習能力の低下。③対人的・社会的行動障害―すぐキレる、抑制力が効かない。④著しく非社会的・反社会的な心の冷たい人間になる。」

あなたがスキンシップを大切になさりたいのも、この事を考えてのことだと思えます。でも赤ちゃんには、おっぱいの飲み方、泣き方など、各々個性や自己主張もあって、自分で育って行く力も備わっていますから、あまりスキンシップのための触れ合い遊び等にこだわら過ぎず、静かに見守る姿勢も必要なのです。

赤ちゃんにとって最も大切なのは、生理的、心理的満足感です。泣いてサインを出すと、すぐ傍にとんできて「おむつがむれて気持ちわるいの？」「お腹すいたの？」「おねむなの？」と問いかけ、快い排泄、楽しい授乳、あやしてもらいながら安らかな睡眠、それが大切なスキンシップなのです。

泣いて求めても放つて置かれたり、おっぱいを飲ませる時、ほほ笑みもまなざしも向けず機械的に飲ませたりするその積み重ねが、酒鬼薔薇事件や先日秋葉原事件にもつながるといふ専門家もいます。構い過ぎず、構わな過ぎず赤ちゃん大人の安定した関係から赤ちゃんは人に対する愛情や信頼感を学びます。

スキンシップはとても大切です。私の園では保育参観日にベビーマ

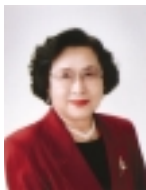
ッサージを体験して貰っています。気が持たないような赤ちゃんの様子に驚きと楽しさを感じるパパやママも少なくありません。「一本橋こちょこちょ」やくすぐり遊びも大好きですが、たった一つの表現である赤ちゃんの初めての泣き声に、その意味を理解して要求を満たしてあげることが大切で

す。月例が高くなると「たいくつ、お相手して」抱っこして「等の甘えにも応えてあげ、機嫌が治つたらもとに戻すなど、要求に応じてあげることが本当の意味でのスキンシップです。

二人目の赤ちゃんの誕生は上のお子さんが受ける混乱、圧迫、シットや淋しさも生じますから、ママも大変だと思えますよ。一人で頑張ろうとして、保育園の一時保育等を利用したり、赤ちゃんを連れて保育園の子育てひろばなどに参加なさると、質問の遊びの指導等もあってリフレッシュできると思いますよ。

先ずは、ママが明るく楽しく子育てを楽しんで下さいね。

藤岡 佐規子先生
ふじおか さきこ



1946年、京都女子専門学校保育科を卒業後、光沢寺保育園に入職。以後一貫して乳幼児保育に従事。現在、光沢寺第二保育園園長。北九州市保育所連盟会長、国際婦人開発基金(ユニフェム)日本国内委員会北九州地域等委員会会長、財団法人アジア女性交流研究フォーラム理事、同児童福祉施設等第三者評価委員会・同社会福祉審議会各委員等(以上、現職)。この間、全国社会福祉協議会全国保育士会会長、福岡県保育協議会会長・同保育士会会長、福岡県立大学・西男女学院短期大学非常勤講師等を務める。

- 仲間達への定期便(西部読売発行出版部)
- 育てよう、いきいきつ子(共著、蒼丘書林)
- 子どもと環境(共著、蒼丘書林)
- 感性を育てる保育実践領域環境と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 感性を育てる保育実践領域人間関係と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 感性を育てる保育実践領域言葉と感性(共著、ミネルヴァ書房)
- 保育園の窓辺から…(蒼丘書林)
- 視点はいつも、子どもたち 保育園の窓辺から…PART2(蒼丘書林)